

# YOU TURN

NIIGATA U-TURN INFORMATION

## 保護者のための 就活応援講座 ダイジェスト

「新潟県内の就職採用  
状況について」

～保護者ができるサポートとは～

にいがた就職応援団 代表 **西嶋 弘重氏**

「一緒に就活を考えよう!」

～子どもの言い分・親の言い分～

キャリアアドバイザー・新潟産業大学非常勤講師  
**橋本 康正氏**

## にいがたUターン 情報センターを 徹底活用しよう!!

先輩からのアドバイス!

## がんばれ後輩

本間東邦株式会社 長岡事業所  
**今井 早希さん**



# 保護者のための 就活応援講座 ダイジェスト

10月22日(土)  
新潟会場

テーマ 「新潟県内の就職採用状況について」

～保護者ができるサポートとは～

講師 にいがた就職応援団 代表 西嶋 弘重氏



## 現在の就職活動概況

### 全体の傾向

- 大学生の就職率は100%ではなく、大学を卒業した学生の全員が企業に入社して働いているわけではないのが現状。
- 求人倍率(1人の求職者(学生)に対しての求人数)は1.23倍となっており、従業員規模や職種を選ばなければ、就職を希望する学生全員が数字の上では就職できるが、従業員規模別で見ると、大企業ほど厳しい。

### 企業側の傾向

- ① 採用基準を上げ、必ずしも採用予定者数に固執しない
- ② グループディスカッションの導入など厳しい目での選考を実施

#### 選考ポイント

- 対人コミュニケーション力
- 仕事への意欲
- 信頼感、誠実さ

#### ～企業人事担当者の声～

- 最近の学生は…
- 基礎学力、コミュニケーション能力が低下
  - どうしても入社したいという熱意が足りない
  - 企業研究が足りない

また、企業が困っている点として、特定の学生が複数の内定をもらっており(3社:24.9%、5社:4.9%)内定辞退に繋がってしまうことが挙げられます。

### 学生側の傾向

近年の学生の傾向として

- 安定志向・大手企業志向
- 特定業種・人気企業への集中
- こだわりの強さ

があげられます。これらは就職活動を行っていく上でも大切な要素ですが、さらに視野を広げていく必要があります。

- やりたいことがわからない
- いい企業、自分にあう企業がない

ということもあげられます。これらは就職活動を進めていく上で非常に危険なことです。

結果として就活を辞め、内定がないまま卒業したり、留年して次年度に活動しようとしていたりすることに繋がってしまう恐れがあります。

こうした、企業・学生それぞれの傾向により、就職活動を取り巻く環境は「**超二極化**」とも言える状況になっています。

つまり、企業にとっては、学生に選ばれ、優秀な人材が多く集まる「**欲しい人材を確保できる**」企業と、学生が思ったほど集まらず、せっかく内定を出したのに学生から辞退をされるなどして「**欲しい人材が確保できない**」企業に二極化し、学生にとっては、企業の厳しい選考をくぐり抜け、「**複数の企業から内定を獲得する**」学生と、やりたいことが定まらないまま就職活動をスタートし、「**内定がなかなか獲得できない**」／**就活を辞めてしまう**」学生に二極化しているということです。

さらにこの二極化の溝が深まっているのが近年の特徴とも言えます。

### ポイント

「既卒3年以内は新卒扱い」という言葉を聞いたことはありませんか?これは、大学等を卒業した後3年以内の既卒者は新卒者と同じ採用基準を用いるというものです。ただし、実際にはこの制度は「海外へ留学をし、就職活動のスケジュールに乗ることが出来なかった学生に対する支援」と捉えている企業が多いようです。安易に、「来年、就活をすればいい」という考えは持たないほうがよいでしょう。

**来** 年春大学を卒業する学生の就職率が発表され、10月1日時点で59.9%（厚生労働省・文部科学省）と3年ぶりに回復しましたが、依然として低い水準が続いており、大学生をはじめとする新卒の就職活動は厳しい状況にあるとも言えます。

また、再来年春卒業の学生（現在の大学3年生等）にとっては、就職活動のスケジュールがこれまでの10月スタートから12月スタートに変わるなど、学生たちにとっての「就活」事情はめまぐるしく変化してきております。

こうした中、保護者の皆さまが親として、社会人の先輩として、どのようにお子さんの就活をサポートしていけばよいかをテーマに、企業人事担当者のパネルディスカッションや就職活動を終えた学生たちの声を通じて考えるセミナーを10月22日（土）新潟市（会場：新潟テルサ）、11月6日（日）長岡市（市立中央図書館）でそれぞれ開催いたしました。

ここでは、それぞれの会場で第一部として行われた、保護者の皆さまへの講演をダイジェスト版でご紹介します。

## 就職活動で気をつけるべきポイント

- 採用活動の基本的な時期は東京も新潟も変わらない
- 採用を止める企業もあれば、開始する企業もある
- 厳正採用も変わらない
- 基本的には定期採用
- 基礎学力も重視している
- 本社が新潟でも（全国）転勤の企業もある
- 県外大学に進学した学生への採用意欲が旺盛

### ポイント

「就職活動のスケジュールが変わる」と言われていますが、具体的には

- ①就活サイトのグランドオープンが2ヶ月ずれる
- ②合同企業説明会の開始が2ヶ月ずれるということがあげられます。

ただし、企業の採用（選考）スケジュールそのものは変わらないことが予想され、学生たちは、より短期集中型の就活を行なっていくことになります。

つまり、これまでは10月から段階的に開催されてきた合同企業説明会・企業研究・単独企業説明会が12月から一気に始まるため、自己分析（自分がやりたいこと／できること）、企業研究などをより一層短期間で行う必要が出てきました。

加えて、Uターン就職を考えている学生にとっては、東京と新潟の採用スケジュールがほぼ同時期に行われることが考えられ、早い段階から、「Uターンをする／しない」などを決める必要もあります。

### ポイント

近年の就職活動はウェブサイトを活用したものが主流となっていますが、「ウェブだけ就活」は危険です。

ウェブ上に掲載されている表層的な情報だけを見た企業研究で「つもり研究」となっている学生も見られます。

こうした「つもり研究」や「ウェブだけ就活」では、企業の選考の際に、きちんとした「企業研究」をしてきた学生に比べるとやはり見劣りをしてしまいます。

そのため、ウェブだけに頼った情報収集ではなく、合同企業説明会や会社説明会に積極的に参加し、企業の生の声を聞くことや、OBOGなど社会人の先輩の話をきくなど、自分で動き、聴き、見て得た情報をもとに企業研究をすることが必要です。

## 保護者の皆さまにお願いしたいサポート

最近の学生の中には、自分の気持ち以外の要素で自分の意志を変えてしまう学生が多く見受けられます。こうした傾向があるため、頭ごなしにお子さんの考えを否定することは避けましょう。

まずは、お子さんの考え・想いというものを受け入れることが大切です。自分なりに考え抜いて出した意志です。尊重をして聞いてあげてください。

次に、心理的な支え・勇気づけをお願いします。お子さんにとって一番身近な社会人が保護者の皆さまです。親としてのアドバイスの他、社会人の先輩としてのアドバイスをしたり、お子さん本人の夢ややりたいこと、可能性の応援をしてあげてください。

その他、就職活動にはスーツ代や交通費など多くの経費がかかります。物理的なサポートになってしまいますが、金銭的なサポートは非常にありがたいものです。

また、平日頃の健康管理や、食事などのサポートも、特に一人暮らしをしているお子さんにとってはありがたいものとなるでしょう。



11月6日(日)  
長岡会場

テーマ「一緒に就活を考えよう！」

～子どもの言い分・親の言い分～

講師 キャリアアドバイザー・新潟産業大学非常勤講師／橋本 康正氏



## 企業の人事担当者が採用で重視する点

- ①コミュニケーション能力
- ②行動力
- ③人柄
- ④熱意・意欲
- ⑤協調性
- ⑥責任感
- ⑦思考力
- ⑧価値観
- ⑨学生時代の活動
- ⑩マナー・語学力・成績

の順になっており、特に①コミュニケーション能力・②行動力の2項目については、回答した企業のうち、約6割が重視しているという回答でした。

また、⑨学生時代の活動についても、「何をやったのか」ではなく「その結果、何を得たのか」が重要になってきます。

また、実際の面接・選考の段階に入った際には、次のような声も聞かれます。

- 同業他社との違いを分析・研究しているか
- 将来、自分がどのようなことをしているか、強くイメージできているか
- 正面から自分と向き合い、自分の強み・長所を把握しているか
- 理想だけでなく、譲れないポイントを定めているか

こうした企業の考え方に対して、最近の学生はどのような傾向にあるのでしょうか

## 最近の学生の傾向

中学・高校時代と受験勉強重視のため人間関係を学ぶことが希薄になっており、

- 人間関係を理解していない学生が多い
- コミュニケーション不全の学生が多い
- 自信がない学生が多い

## 大学キャリアセンターの担当者から見た特徴

- ①就活モードのやる気スイッチが弱く、スタートが遅い
- ②将来の方向性・ビジョンを描けない
- ③自己分析・自己理解ができていない
- ④企業研究が弱く、企業そのものを知らない
- ⑤その結果、志望決定が遅くなる
- ⑥自分が会社名を知っている企業に集中している
- ⑦志望動機が書けず、友人・本と同じ文章になってしまう
- ⑧典型的な学生が多く、個性がない
- ⑨転職に関して弱気である
- ⑩就活・就職の厳しさ(緊迫感・危機感)が希薄である
- ⑪積極的な学生・全く無関心な学生の二極化が進んでいる
- ⑫就活・合同企業説明会・企業説明会でも消極的である
- ⑬応募企業も少なく、ムダ・ムラが多い
- ⑭全体的に元気・力強さ・目力がない
- ⑮エントリーシート・履歴書・自己紹介書が苦手である
- ⑯「社会貢献」「成長」などのマニュアル言葉を多用する
- ⑰自信の無さが表情に出ている
- ⑱準備不足で就職試験を甘く考えている
- ⑲就職課・キャリアセンターを利用しない
- ⑳親と相談しない

大きく分けると

- 就職活動に対する意識が低い、マニュアルに頼っている
- 元気がなく、やる気が見られない
- 誰にも相談をしないまま、就職活動に取りかかっている

と考えられます。

つまり、企業側が採用の際に重視している、コミュニケーション能力や行動力が伴っていない学生が多く、この点が就職活動がうまくいかない1つの大きな要因と言えると思います。

このような現状のもと、保護者としての心構えとして、次のことを意識していただきたいと考えています。

## 親の心構え&事前準備

◎子どもとのコミュニケーションを大切にし、親の先入観で判断をせず、まず子どもの意見を聴きましょう。

その際の確認事項として3つ提案させていただきます。

①子どもの本音の志望先はどこか ②志望先を選択した条件はなにか ③就職活動の進行状況はどのような具合か

加えて、親だからこそ分かる子どもの才能や価値観などくみ取った上で、子どもの感情や気持ちを理解するように心がけてください。親子のコミュニケーションは、感情を共感するものです。

# にいがたUターン情報センターを徹底活用しよう!!

にいがたUターン情報センターは、東京・表参道にある新潟県のアンテナショップ「ネスパス新潟」の2階に設置してあります。広い入口で入りやすく、センターの中には越後杉を使ったテーブルやイスがあり、暖かみのある室内となっています。



## にいがたUターン情報センターとは…?

【新潟県の仕事とくらしの相談窓口】として、U・Iターン就職を考えている学生・社会人のみなさんへ、新潟県内の就職情報・企業情報を提供する場であると同時に

- 専門のスタッフによる、きめ細やかな就職相談
- 新潟県内の最新の求人情報をチェック
- 希望の求人があれば、その場で企業との取り次ぎを行っています。

センターは土日も開館しており、学校の授業や仕事などで平日は時間がない方もご利用いただけます。センター内には、ハローワークに設置されているものと同じ「求人検索機」が設置されており、県内の最新の求人情報を入手することができます。また、県内企業や就職状況を熟知した専門のスタッフも常駐しておりますので、スタッフと相談しながら、自分の希望する仕事にはどのような求人があるのかを調べることも可能です。希望する求人が見つかった場合には、その場で企業との取り次ぎや紹介状の発行も行うことができます。新潟へ帰省するタイミングなどもあるため、面談日の調整が必要な場合も多いと思いますが、目の前で取次を行いますので、日程調整もスムーズに行えます。

このように、センターでは、新潟へのU・Iターン就職の総合的なサービスを受けることが可能です。

## そのほか、センターでは利用者のみなさまのニーズにお応えするべく、定期的にミニイベントを開催しています!

後の人が気になって、なかなか聞きたいことが聞けなかった…

### 定期的に「予約相談会」を開催しております。

事前予約制の相談会なので、後の人のことを気にせずに相談をすることができます。

就職活動を始めた／始めたいけど、どのようにして、就職活動を進めていいのかわからない不安だ…

### 「Uターン就職セミナー」を開催しております。

「企業研究の仕方」や「合同企業説明会の活用の仕方」、「内定者／社会人の先輩との座談会」など、就職活動を進める上でのサポートを行います。

※そのほか、年明けからも、様々なミニイベントの開催を予定しております。

## にいがたUターン情報センター

### OPEN

火曜・日曜・祝日を除く毎日 10:30~18:30

### TEL

03-5771-7713

### ACCESS

東京都渋谷区神宮前4-11-7(表参道ヒルズとなり)  
JR山手線原宿駅より徒歩10分 東京メトロ表参道駅A2出口より徒歩1分

### URL

<http://www.nico.or.jp/nespace/uturn.html>





先輩からのアドバイス!

# がんばれ後輩

本間東邦株式会社 長岡事業所(長岡市) **今井 早希**さん  
(勤務4年目)長岡市出身

## 「やりたい仕事があれば妥協せずに 就職活動をやり通すことが大切です。」

- ① Uターンする前はどこにお住まいでしたか?**  
関東地方に4年間住んでいました。
- ② 新潟にUターンした理由は何ですか?**  
家族や地元の友人と過ごす時間を大切にしたいと思ったからです。両親は口にはしませんが、私が新潟に戻ってきてうれしく思っているようです。新潟に戻りたいという気持ちは前から持っていました。
- ③ Uターンする際の就職活動について、活動方法や苦労したことなどがあれば教えてください。**  
スケジュール管理や、地元企業の情報が手に入りにくいといった点は苦労しました。夏休みや冬休みに、まとめて就職活動できるようにうまく調整できるといいと思います。
- ④ 新潟にUターンして良かったと思うことは何ですか?**  
満員の通勤電車ではなく実家から車で通えることと、地元の友人にいつでも会えることです。
- ⑤ 今の仕事の内容とその魅力を教えてください。**  
医薬品販売の営業(MS:マーケティング・スペシャリスト)をしています。市内の開業医と薬局を中心に50軒以上を担当しており、主に薬の情報提供や納品などを行っています。「今井さんのおかげで助かったよ」などと感謝されたときは、本当にやりがいを感じます。
- ⑥ 今の会社に入社した動機は?**  
会社説明会や面接時の社員の方の対応がとても優しくて丁寧だったことです。また大学時代に化学系を専攻しており、医薬品業界に興味があったことも理由の一つです。当時県内では初めての女性MSとして採用されたのですが、仕事自体に興味があったので、その点は特に気になりませんでした。
- ⑦ 会社の雰囲気はどうでしょうか?**  
社員同士の仲が良く、話しかけやすい雰囲気だと思います。疑問点なども先輩から優しく教えてもらっています。
- ⑧ 将来の目標を教えてください。**  
お客様から「今井さんがいなくなると困るよ」と言ってもらえるくらいに、信頼関係をより強くすることが目標です。また、営業スキル向上のため、短い訪問時間の中で相手のニーズを的確に聞き出すことができるような工夫も必要だと思っています。
- ⑨ 休日の過ごし方は?**  
友人と飲みに行ったり、旅行に行ったりしています。また体を休めることを目的に、家でゆっくりと過ごすこともあります。
- ⑩ 学生へのアドバイスをお願いします。**  
やりたい仕事があれば、妥協せずに就職活動をやり通すことが大切だと思います。興味が無い分野だと、せっかく始めた仕事が続かなくなる可能性があります。厳しい時代ではありますが、諦めずにがんばってください。

## 「YOUターン就職フェア2DAYS」を開催します!

首都圏の大学等に進学されている学生のUターン就職を支援するため、東京都内で「YOUターン就職フェア2DAYS」と題し、合同就職説明会を開催します。

### 官公庁編

**日時** 平成24年1月14日(土) 11:00~17:00  
**会場** 東京都立産業貿易センター浜松町館 中3階  
**内容** 官公庁(県・新潟市・県警察・県教育委員会)  
平成25年4月採用説明会  
**対象** 平成25年4月採用対象者 ※大学1,2年生の入場も可

### 企業編

**日時** 平成24年1月15日(日) 13:00~16:00  
**会場** 新宿エルタワー30F サンスカイルーム  
**内容** 県内企業合同企業説明会  
(参加企業40社予定)  
**対象** 2013年(平成25年)3月大学等卒業予定者

申込不要・参加無料・入退場自由

詳しくは



本誌に関するご意見・ご感想をおよせください!

新潟県産業労働観光部労政雇用課雇用対策班あて E-mail [ngt050050@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt050050@pref.niigata.lg.jp)